

芦屋町下水道事業経営戦略（素案）【概要版】

令和5年度／2023年度

1. 策定の背景

（経営戦略策定の趣旨）

平成29年3月に「芦屋町下水道事業経営戦略」を策定しました。その後、人口減少が続いていること、供用開始から40年以上経過した多くの施設で老朽化が進んでいることから、経営状況がより厳しくなることが予想されます。そのため、近年の下水道を取り巻く環境に合わせて経営戦略を見直すものです。

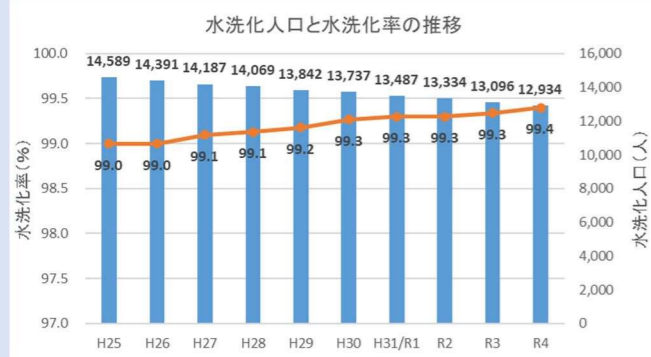
（計画期間）

令和5年度～令和14年度
（10年間）

2. 下水道事業の現状と課題

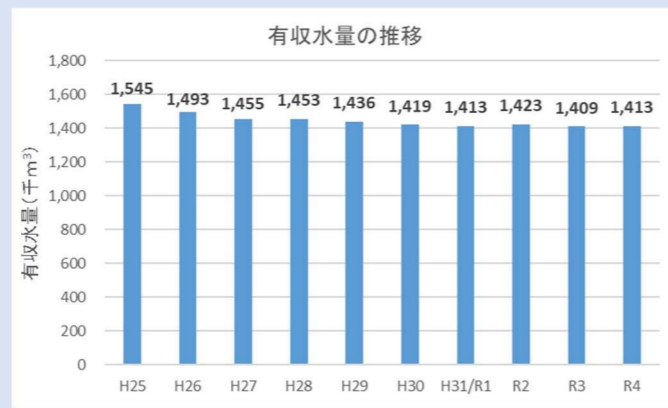
（水洗化人口）

下水道の整備は概ね完了していますので、人口減少の影響を受け、水洗化人口はH25年度からR4年度で1,655人減少しています。また、今後もその状況は続く見込まれます。



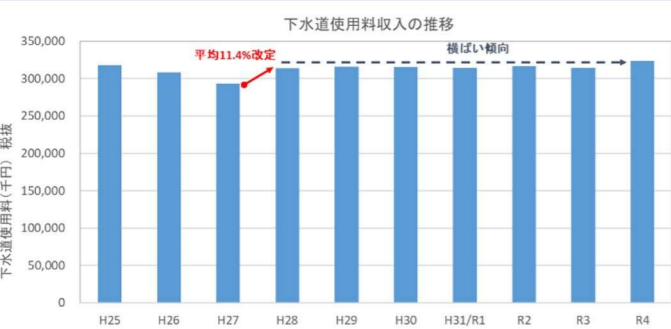
（有収水量）

人口減少により、有収水量はH25年度からR4年度で1,32千m³/年減少しています。



（使用料収入）

下水道使用料収入は、平成27年度まで減少傾向でしたが、平成28年度に使用料改定後は、横ばい傾向に改善しています。コロナ禍における外出自粛の影響と考えられます。



（類似団体との比較）

経営指標の類似団体比較

経営指標	芦屋町		類似団体平均 R3	望ましい方向	
	R3	R4			
経営の健全性	経常収支比率	103.53%	101.90%	106.22%	↑
経営の効率性	汚水処理原価	226.84円	230.67円	173.17円	↓
	経費回収率	100.00%	100.00%	90.17%	↑
債務の重さ	企業債残高対事業規模比率	75.26%	63.15%	747.84%	↓
施設老朽化の度合	有形固定資産減価償却率	64.13%	65.01%	23.54%	↓
管渠老朽化の対策度	管渠改善率	0.42%	0.42%	0.15%	↑
管渠老朽化の状況	管渠老朽化率	0.00%	0.00%	1.50%	↓
水洗化の状況	水洗化率	99.37%	99.43%	91.07%	↑

※類似団体平均は、R4年度値が未公表のためR3年度値を使用しています。

今後、既設管渠や処理場・ポンプ場の老朽化による更新費用が増加するため、投資計画を作成し、適切な財源確保、財源構成の検討を行う必要があります。また、過度に一般会計からの繰入金に頼ることなく、適切な経営を行っていく必要があります。

3. 経営戦略の基本方針



すべての町民がいつまでも安心して暮らせるよう

「安全で快適な下水道サービスを、持続的・安定的に提供する」

©芦屋町

4. 投資・財政計画

（改築更新）ストックマネジメント計画に基づき、事業の平準化を考慮して、計画的に改築・更新に取り組みます。

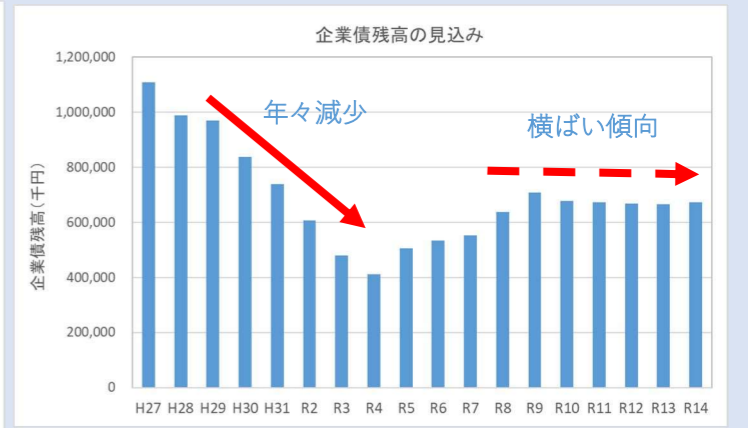
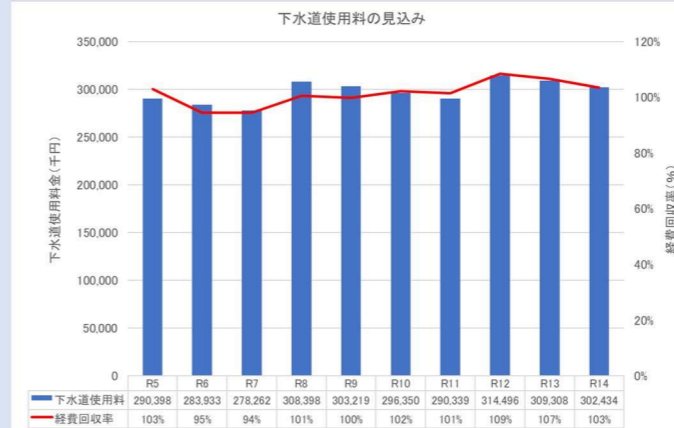
（耐震対策）維持管理等に係る人員が常駐・巡回する施設（建築構造物）を優先して対策を進めます。

（再生エネルギー活用）平成29年度に消化ガス発電設備を設置し、発電電力を場内で活用中です。引き続き再生エネルギーの活用に努めます。

（広域化・共同化）福岡県汚水処理事業広域化・共同化計画に基づき、近隣市町との広域化・共同化を検討します。

（下水道使用料適正化）経営健全化のための取組を継続して行いながら、4年毎に使用料改定を検討します。

（一般会計からの繰入金適正化）使用料等の財源を確保し、独立採算制の基本原則に基づく経営に努めます。



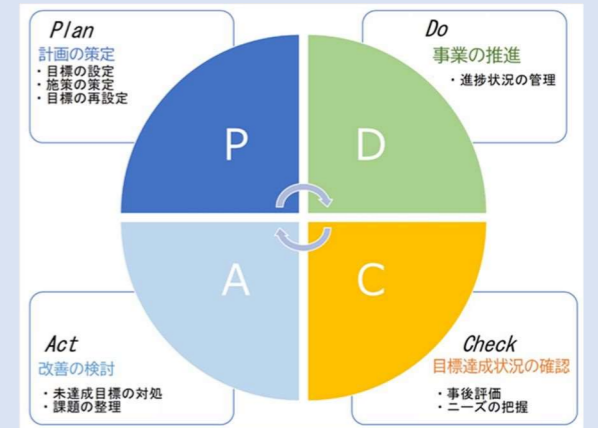
5. 計画の点検と進捗管理

（計画の点検と進捗管理）

計画の進捗管理を行い、計画と実績値に乖離が生じた場合や、前提とする経営環境の条件が変更となった場合など、必要に応じて3～5年毎に計画の見直しを行います。

（経費回収率の向上に向けたロードマップ）

将来の使用料収入確保に必要な投資を実行しながら、経費回収率100%を維持するため、施設の効率的な運営に取り組み、さらなる汚水処理原価の抑制に努めます。また、適切な時期に使用料水準の見直しを行い、事業運営のための財源確保に努めます。



経費回収率 (%) = 下水道使用料 / 汚水処理費 × 100
使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、使用料水準等を評価することが可能

【ロードマップ】

項目	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経費回収率（計画値）	103%	95%	94%	101%	100%	102%	101%	109%	107%	103%
各種見直しスケジュール	経営戦略改定			必要に応じて使用料水準の見直し	経営戦略改定			必要に応じて使用料水準の見直し	経営戦略改定	